

おおた 社協だより

2019年11月
臨時号

互いに結びあい 共に  えあう まち

編集・発行

社会福祉法人 大田区社会福祉協議会

〒144-0051 東京都大田区西蒲田7-49-2

☎ 03-3736-2021 FAX 03-3736-2030

🌐 <https://www.ota-shakyo.jp>

🐦 https://twitter.com/ota_shakyo

おおた社協だより



大田区地域福祉活動計画推進委員会のみなさん

主な
内容

1面 第6次リボン計画を策定しました

2面 3面 「互いに結びあい 共にえあう まち」の実現に向けて

4面 第6次リボン計画の体系図

人と思いがっつながり循環するしくみづくりを目指して



地域福祉活動計画(リボン計画)

を策定しました

この計画の本編は
当会ホームページから
ご覧いただけます。

令和元年10月から令和6年3月までを計画期間とした
「第6次大田区地域福祉活動計画」(愛称:リボン計画)
を多くの方々のご協力を得て策定いたしました。

この計画は区民の皆様と大田区社会福祉協議会、行政、
専門機関が連携・協働して「地域共生社会の実現」を目指
す計画です。



～第6次大田区地域福祉活動計画(リボン計画)～

基本理念「互いに結びあい 共にえあう まち」

基本目標1

丸ごと支える
支援の輪を
つくります

基本目標2

思いがっつながり
活動が継続するよう
取り組みます

基本目標3

助けあい支えあいが
実感できる地域を
つくります

基本目標4

権利擁護の
推進機関としての
役割を果たします

「互いに結びあい 共に支えあう まち」の実現に向けて

共に安心して暮らせる社会を目指しましょう

地域共生社会の実現に向けて

南六郷三丁目町会 会長 吉野 鷹夫 さん



今、地域では、住民の生活環境が変わり、価値観が多様化しています。そのような中で、この第6次リボン計画を咀嚼し、大田社協と連携しながら、関係機関とのネットワークを活かし、誰もが排除されることのない包括型社会づくりに取り組むことで住み慣れた地域で安心して暮らすことが出来る、地域共生社会の実現を望みます。

安心して暮らせる社会を

大田区民生委員児童委員協議会 会長 平石 昭夫 さん



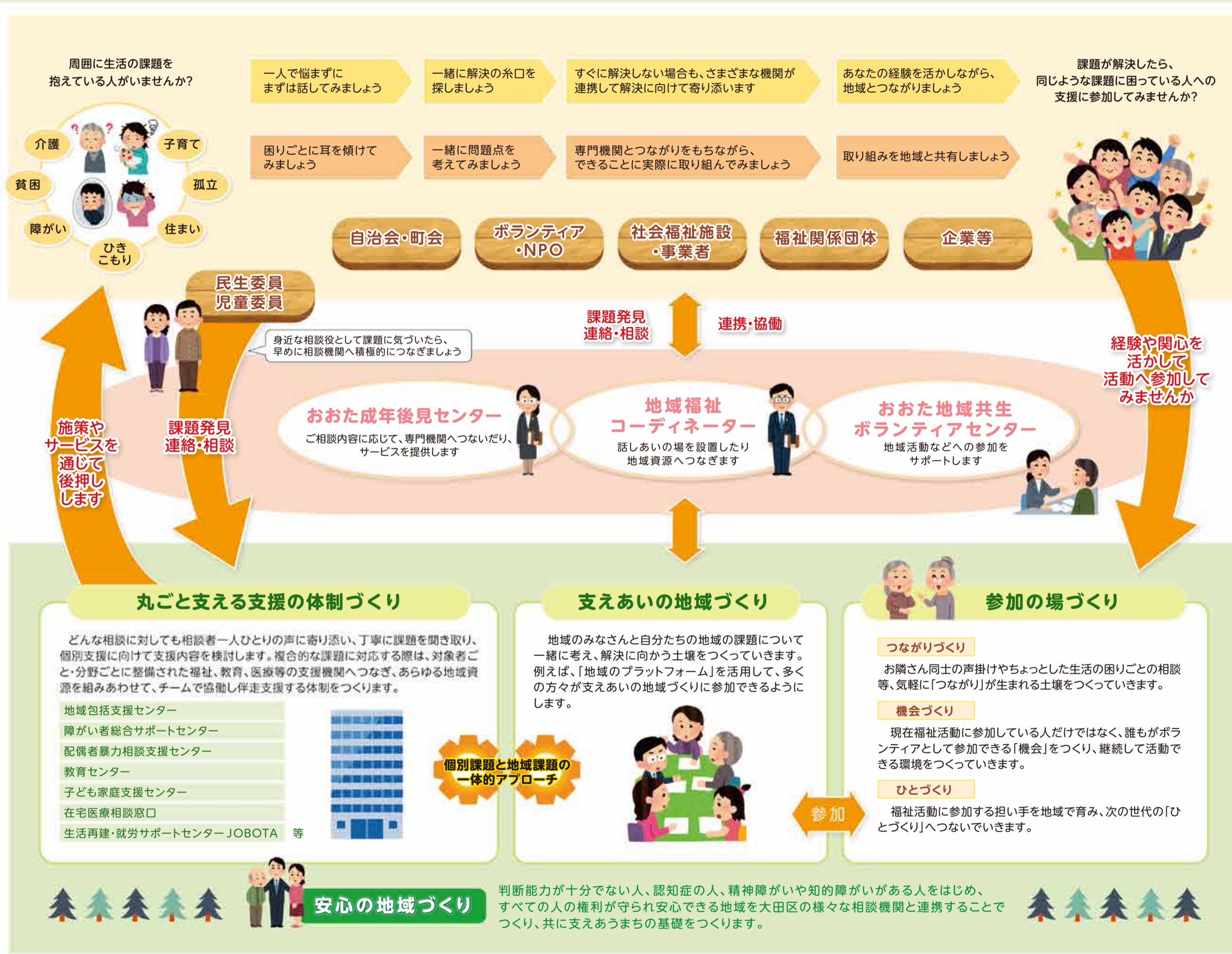
地域共生社会の根源である「我が事・丸ごと」の実現には、支援機関や団体、地域住民がそれぞれの特性を活かすだけでなく、「横のつながり」をもって、お互いを理解することが大切です。大田社協が地域の中の問題や、その解決に向けた取り組みで蓄積した情報などを、私たち民生委員児童委員や地域の人々とも共有し、安心して暮らせる社会を目指しましょう。

地域のつながりを今一度「結び」なおしていきましょう

おおた区民活動団体連絡会 共同代表 浜 洋子 さん



地域における自助、互助、共助がコミュニティとして存在していたところに比べ、核家族化、単身化が進み、共に助け合う基盤が失われている今こそ包括的な互いにケアできるシステムを創らねばなりません。大田区はまだまだ地域力があることをおおた区民活動団体連絡会の活動を通じて実感しています。この連絡会として今回2度にわたり第6次リボン計画案の意見交換をさせていただきました。大田社協が軸となり、地域のつながりを結びなおしていくことを期待し、共に結ぶ活動を行っていききたいと思います。



権利擁護の確実な推進に向けて

司法書士(公益社団法人成年後見センターリーガルサポート) 松井 秀樹 さん



高齢者・障害者の権利擁護とは、その方の適切な権利の行使の支援、その方への権利侵害の解消、その方への権利侵害の予防を含んでおり、成年後見制度の活用をはじめとして、その活動は広くかつ深い分野です。大田社協は弁護士・司法書士・社会福祉士等の専門職や関係機関と連携協力していくことで、大田区民の権利擁護の「公器」へと発展されることを我々は期待します。

地域の未来を大田社協とみんなで培って

社会福祉法人大洋社 常務理事 齋藤 弘美 さん



大田社協との出会いは古く、以前から、母子家庭の施設の子供に「クリスマスプレゼント」を贈ってくれていました。7年ほど前から社協の会議に参加するようになり、様々な意見が出るたびに、この地域の未来は大田社協をはじめみんなで培っていると感じました。今回の第6次リボン計画は、これまで以上に地域の助け合いとして「リボン」の名前のように、大田社協が地域をつなげることで、地域共生社会が広がることを楽しみにしています。

我がことと感ぜられる社会・地域を

気まぐれ八百屋だんだん 近藤 博子 さん



だんだんには、子ども食堂や様々な活動を通して本当に色々な人がやってきました。その中で話を聞いていると今後の地域や社会にとってカギとなるのは、今現在、福祉や地域に興味がない人たちがいかに巻き込んで我がこととして感ぜられる人を増やしていけるかだと思います。大田社協には、積極的に地域に向かい住民と話をし住民同士の支えあいや我がことと思える仕組みを、私たち住民と一緒に作って欲しいと思います。応援しています。

広告

『相続』のご相談

東京相続なんでも相談ルーム

- ★生前対策・遺言書作成・信託
- ★遺産分割協議書作成
- ★相続税申告書作成など

小林佳与公認会計士・税理士・行政書士事務所
 〒143-0023 大田区山王 2-1-8 山王アーバンライフ 310
 TEL:03-6429-2420 FAX:050-3737-8254

「第6次リボン計画の全体像」

上記の図は、第6次リボン計画で掲げている基本理念である、「互いに結びあい 共に支えあう まち」の実現に向けた全体像を絵で表したものです。絵で表現しているのは、誰もが地域の中でかけがえのない存在として、その多様性を活かして地域とつながり、支えあいのまちを実現するというものです。

第6次リボン計画では、大田区が策定した「地域福祉計画」と一体的に推進することで安心の地域づくりと支えあいのまちを実現していきます。

大田区地域福祉活動計画は、平成8年度に策定した第1次計画以来、「福祉の心をリボンに託して結びあう」という思いを込めて、「リボン計画」と称しています。



第6次リボン計画の体系図



広告

有料老人ホームをお探しなら ゆびてる・けあ にご相談下さい

ご相談・ご紹介一切無料

- 入居金0円で月額も安価なホーム
- 退院後すぐに入居できるホーム
- 在宅酸素、胃ろう、鼻腔、インスリン、IVH、吸引等でも入居できるホーム
- 認知症の方でも入居できるホーム
- リハビリが出来るホーム

ご要望に添ってご案内いたします。



大田区田園調布1-52-9 ジェミコ1階

老人ホーム紹介センター
ゆびてる・けあ

お問い合わせ・資料請求
0120-85-6543
www.jupiter-care.jp

委員の皆様、事務局の皆様の奮闘により、第6次リボン計画を策定することができました。委員長として、感謝申し上げます。

計画は、大田社協の公益性と自主性を基盤に据え、地域福祉コーディネーターの設置など第5次計画の中で築き上げてきた取組を更に発展させるものです。道筋を描くことはできました。

その道筋を辿って行くためには、大田社協への理解度を高めること、大田社協の組織的力を格段に上げることが必須であることを付け加えておきます。

大田区地域福祉活動計画推進委員会 委員長 田島 誠一



大田区社会福祉協議会 会長コラム



現在、日本では、少子・高齢化及び人口減少社会の到来と、地域の生活課題の複雑化・複合化など、深刻な課題を抱えています。この課題の解決のためには、地域で互いに支えあう「地域共生社会」の実現が必要不可欠です。

大田社協としまして、この第6次リボン計画に基づき、役職員一丸となって、区民の皆さまとともに地域共生の実現に取り組んでまいります。

中島 寿美